



ひなどり

第6号 令和8年10月1日
新潟市立新津第三幼稚園だより



幼稚園HP

【教育目標】

なかよく せいっぱい
遊ぶ子ども



「とんぼの家」ができたよ

園長 大矢 晃子

秋の園庭では、心地よい風にコスモスの花が揺れ、子どもたちは季節を感じながら、遊んでいます。晴れた日には、とんぼやバッタ、コオロギなどの虫を探す様子がよく見られています。虫を捕まえたら、飼育ケースに入れて飼いたくなるのですが...

年長組の遊びの様子をご紹介します。

ある日、園庭で捕まえた「とんぼ」が死んでしまいました。

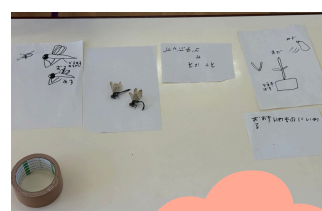
A児「死んじゃったね...。」

B児「せまくて飛べなかったからかなあ？」

C児「とんぼのこと、調べてみようよ。」

子どもたちは、図鑑でとんぼのことをいろいろ調べました。そして、とんぼに興味をもった

子どもたちは、一緒にお部屋でいられるように、一生懸命に考えました。



そうだ！とんぼのいえをつくらうよ。



私たちも入れるくらいのおうちにしよう！



子どもたちは、どうしたら「とんぼ」が元気で、自分たちと一緒にいられるかを調べ、考えていい方法を見つけ出しました。保育室には、とんぼが飛べる広さの囲いを作り、その中に草を植えたプランターを置きました。この家ができるまで、何日かかりましたが、自分たちの思いの実現に向かって夢中になっている姿が見られました。

＜子どもが心を動かす時＞

大切にしていた「とんぼ」の死をきっかけに、子どもたちの心が動きました。この思いを教師は受け止め、命ある生き物の向き合い方や、子どもがどうしたいと思っているのかなど、ここで経験していることを大事に、子どもの「こうしたい」という思いの実現を支えました。このような普段の生活の中でも、友達と遊びを通した協働的な経験は、思考力や判断力、表現力、学びに向かう力などの基礎となります。

園では、このように日々の保育で子どもの思いを大切に、幼児期にふさわしい豊かな経験を遊びを通して育んでいます。

10月3日（土）は運動会です。



子どもたちの「やりたい！」がいっぱい込められた運動会です。友達や先生と精一杯、体を動かして楽しんでいる子どもたちに、温かい応援をよろしくお願いいたします。